

緑と市民ネットワークの会



議会報告ニュース

[第13号]

夏
秋 2018
号

公式サイト <http://midoritonet.info>

発行: 緑と市民ネットワークの会 / 〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1 福岡市役所 議会棟13階 / TEL.092-711-4875 / FAX.092-733-5881

市民の声で、 議会改革、道半ば。 改革を前に!

2015年9月に発足した議会改革調査特別委員会。当時、請願の採決時に市民(傍聴者)を退席させるというルールを改め(採決も含めてすべて常任委員会を傍聴できるようになりました)、注目を浴びました。以降、社会科特別授業(下記)や請願の紹介議員へ質疑が行われるようになるなど、前進もありましたが、道半ばです。

昨年度は主に「議会基本条例」について調査しました。福岡市議会としては前例が少ない「参考人制度」が活用され、昨年12月に東大の金井利之教授、今年1月に法政大の廣瀬克哉教授の考えを聞く場が設けられ、大勢の方が傍聴されました。金井教授は「首長の暴走(独裁)を防ぐため議会改革が必要」、廣瀬教授は「議会は合議体。公開の場で議論をして意思決定することの意味がある」「議会基本条例のポイントは住民参加。住民の権利保障として基本条例というルールが必要」などと発言されました。しかしまだ「基本条例は必要ない」という会派もあり、今期中の制定は厳しい見通しです。

そのほかの個別課題として、「常任委員会の名称」問題が平行線のまま改善できていません。現在の「第1」～「第5」という名称は市民には分かりづらく、私たちは「総務財政委員会」「こども・教育委員会」など市民に分かりやすい名称に変更すべきと提案しています。議会で結論が出なければ、市民の皆さんの意見を聞いて決めたいのではないのでしょうか。また、私たちは「常任委員会の会議録への発言者名の記載」や「常任委員会のネット中継」も提案していますが、こちらもまだ進んでいません。市民の声で改革を前に進めましょう。

小学6年生議員誕生! ～初の試み「福岡市議会社会科特別授業」

7月9日(月)、6年生の社会科の授業が福岡市議会で行われました。公募し抽選で決まった日佐小学校の6年生69人が参加。この取り組みは各会派から1人ずつ実行委員を出し、実行委員会形式で準備を進めてきました。

児童全員が議員役です。「朝食も学校給食を実施すること」という仮想のテーマについて、6つの委員会に分かれて議員どうしで討論、その後、本会議で12人の議員が賛成/反対の討論演説を行いました。採決は、賛成少数で否決されました。

議会や議員の仕事を子どもたちに知ってもらいたいと企画したこの取り組み。参観日としての保護者の傍聴もありました。今年度は11月にも2校を予定しています。今後も子どもたちに議会と活発な議論を体験してもらえよう充実させていきたいと思ひます。



実行委員の森あや子議員が市長役を務めました。